

磐城調査新報

發行日臨時
編輯印刷人兼發行人
發行所 雅行
福島縣石城郡平町
新報社
廣告料 五部五字一行情
新聞定額 一月十錢
一月十錢

平町發展策の私見と希望

本社が兼て、大平町より大平市へと進展しつゝある町勢を、更に活氣あるものとすると同時に鞏固なる町是を樹立せんとする微意より、現町會議員諸氏に乞ひ、「平町發展策の私見と希望」なる題下に、深遠なる御意見の發表を願ふ事としたるに、愛町の血に燃ゆる多數町議諸氏は本社の此の舉に賛し、忙中を割いて陸續として玉稿を寄せられつゝあるは、如何に町政に忠實なるかを語るものにして、本社は茲に深甚の敬意を表するものである。

人の和

吉田 五平

「天の時地利に如かず、地利は人の和に如かず」と云ふ直接に享受せねばならぬ、故に、予の聞く處に依れば、郡山の例に過ぎざるも、吾が平町に於ては、平町現在及び將來を思ふの時聊る郡山とし、より良く住み易き不安の念に藉られざるを得な郷土として將來に之れが利達をいのである、吾が平町の發展に得んと欲するに於ては、第一に未だ天の時を得ないのである、各自の和を基礎とせねばならぬ、又地の利に欠けて居るの所謂隣保相憐み、郷黨相愛するであらうか、予は即座に否と絶叫することを得ない、只此のは此点に於て平町民が果して真理の根幹を成せる人の和？果互に此の温情味に充分であらうしてどうであらうか、凡そ一家か甚だ疑を存するのである、今又各自自治団体と云はず、其組織決して天の時來らざるに非ず、又多數の集合体である以上、必地の利に欠くるに非ず、即ち天す其和を第一に求めねばならぬ惠の寶庫たる磐城炭田は平町を

殊に市町村自治体にて最も切實に激感するものである、平町は日を追ふて勃興し、林立せる有利の條件を以て圓滿なる解決を要するものであらうと思はれ、予の聞く處に依れば、郡山の例に過ぎざるも、吾が平町に於ては、平町現在及び將來を思ふの時聊る郡山とし、より良く住み易き不安の念に藉られざるを得な郷土として將來に之れが利達をいのである、吾が平町の發展に得んと欲するに於ては、第一に未だ天の時を得ないのである、各自の和を基礎とせねばならぬ、又地の利に欠けて居るの所謂隣保相憐み、郷黨相愛するであらうか、予は即座に否と絶叫することを得ない、只此のは此点に於て平町民が果して真理の根幹を成せる人の和？果互に此の温情味に充分であらうしてどうであらうか、凡そ一家か甚だ疑を存するのである、今又各自自治団体と云はず、其組織決して天の時來らざるに非ず、又多數の集合体である以上、必地の利に欠くるに非ず、即ち天す其和を第一に求めねばならぬ惠の寶庫たる磐城炭田は平町を

み、以て種々なる障害を敢てし露西亞は露西亞國民に依て破壊と思はれます、殊に四倉街道はざるも、根本義は自ら發展せざる有り、神谷、草野、大浦、夏井の可らず、其策の一として住み飯野の如き豊かなる人々の出入能き町、暮し能き町、言を換ひ口たる、東部方面の開拓こそ平町れば、外來者の集ひ來る途を考慮するに資する事最も大なるものと思はれます。

凡ての物進歩發展するに直面しては、一二の物のみ發達せるに倚り無限の大を爲すに非ざる事は費を要せざる次第、吾平町は將來必ず大を爲す素地に在るに於て思ふ、平町に大製造工場は世人の皆認め居る所なるが、却説要求に基づき筆を持つて見れば、許より淺學短才、殊に自之に加ふるに、商業を以てした治學の初年生、果して大平町とらんには大に至る敢て難きに非して進展しつゝある現下の趨勢らざるべし、管單に物品の集散に一の端緒として合致するや否地としての現勢の儘に推移せばや頗る疑問の念なきに非ざるも前途衰退に向ふに非ずやとの杞兎に角憶面なく記載する事とし憂なしとせず、筆者の臆尚且然り矣、然るに未だ何等工場等の縣稅賦課人員四千六百余人、人口二萬五六千人の平町は決して小町なりとは思はざれども之む雰圍氣が工場地に不適か、住を大として考察するに當りてはむ者の氣風に合致せざる歟、非尨大なるが故に大平町を冠する面の推論は尨白異同の觀察に陥り非ずして人家稠密、人口稠集の恐なきとせざれども既往を顧して始めて之の稱の生ずる所以果して然りとすれば、如何にせば人口稠集し賑賑を極むるや、郡山は二對照の好一對なりしが郡山の如く、即ち今日一の單價は郡山は名實共に既に其域に達したまはちにして五或は十と累騰未だに舊殼を脱せず取殘されし止むなきに於て設計主をして後退するの吾平町之れ面積の如何に據らざる所會て福島町が市制を布かん何等の視る可き事業も成立されどせる際近郷諸村の併合を行ひ亦最近の郡山に於ける富久山の地と、空氣と、所有者の氣質の如く其轍を履むる先例なきに非

圍繞し無限の海産物は又數里を出でずして之れを撈收し以て平町をして集散の地点となしつゝあるのである、其他農産物及び其副産たる蘆藪等も容易に之れを求むることが出来るのである、而かも彼の低廉なる燃料供給の便を有しながら更に製造工業等の興らざるは何の爲めであらうか甚だ不可解に堪えないのである、之れを郡山市と比較せんか數年前迄は平と郡山とは市制實施の何れが速かなるかを一先輩諸氏が今少しく積極的愛より注視の的となつて居たのである、然るに彼の郡山は既に市制を實現し而かも商業は益々發達するを以て圓滿なる解決を要するものであらうと思はれ、予の聞く處に依れば、郡山の例に過ぎざるも、吾が平町に於ては、平町現在及び將來を思ふの時聊る郡山とし、より良く住み易き不安の念に藉られざるを得な郷土として將來に之れが利達をいのである、吾が平町の發展に得んと欲するに於ては、第一に未だ天の時を得ないのである、各自の和を基礎とせねばならぬ、又地の利に欠けて居るの所謂隣保相憐み、郷黨相愛するであらうか、予は即座に否と絶叫することを得ない、只此のは此点に於て平町民が果して真理の根幹を成せる人の和？果互に此の温情味に充分であらうしてどうであらうか、凡そ一家か甚だ疑を存するのである、今又各自自治団体と云はず、其組織決して天の時來らざるに非ず、又多數の集合体である以上、必地の利に欠くるに非ず、即ち天す其和を第一に求めねばならぬ惠の寶庫たる磐城炭田は平町を

東部の開發

荒川 淺次郎

平町發展策としては種々ありませうが、先づ東部方面の開拓即ち六、七丁目裏から鎌田町に掛けての發展策、是れが一番急を要するものであらうと思はれ、西部方面には、立派な松ヶ岡公園があり、城山は水道の完成尨大なるが故に大平町を冠する面に非ずして人家稠密、人口稠集の恐なきとせざれども既往を顧して始めて之の稱の生ずる所以果して然りとすれば、如何にせば人口稠集し賑賑を極むるや、郡山は二對照の好一對なりしが郡山の如く、即ち今日一の單價は郡山は名實共に既に其域に達したまはちにして五或は十と累騰未だに舊殼を脱せず取殘されし止むなきに於て設計主をして後退するの吾平町之れ面積の如何に據らざる所會て福島町が市制を布かん何等の視る可き事業も成立されどせる際近郷諸村の併合を行ひ亦最近の郡山に於ける富久山の地と、空氣と、所有者の氣質の如く其轍を履むる先例なきに非

公益心の喚起

佐藤 岩次郎

凡ての物進歩發展するに直面しては、一二の物のみ發達せるに倚り無限の大を爲すに非ざる事は費を要せざる次第、吾平町は將來必ず大を爲す素地に在るに於て思ふ、平町に大製造工場は世人の皆認め居る所なるが、却説要求に基づき筆を持つて見れば、許より淺學短才、殊に自之に加ふるに、商業を以てした治學の初年生、果して大平町とらんには大に至る敢て難きに非して進展しつゝある現下の趨勢らざるべし、管單に物品の集散に一の端緒として合致するや否地としての現勢の儘に推移せばや頗る疑問の念なきに非ざるも前途衰退に向ふに非ずやとの杞兎に角憶面なく記載する事とし憂なしとせず、筆者の臆尚且然り矣、然るに未だ何等工場等の縣稅賦課人員四千六百余人、人口二萬五六千人の平町は決して小町なりとは思はざれども之む雰圍氣が工場地に不適か、住を大として考察するに當りてはむ者の氣風に合致せざる歟、非尨大なるが故に大平町を冠する面の推論は尨白異同の觀察に陥り非ずして人家稠密、人口稠集の恐なきとせざれども既往を顧して始めて之の稱の生ずる所以果して然りとすれば、如何にせば人口稠集し賑賑を極むるや、郡山は二對照の好一對なりしが郡山の如く、即ち今日一の單價は郡山は名實共に既に其域に達したまはちにして五或は十と累騰未だに舊殼を脱せず取殘されし止むなきに於て設計主をして後退するの吾平町之れ面積の如何に據らざる所會て福島町が市制を布かん何等の視る可き事業も成立されどせる際近郷諸村の併合を行ひ亦最近の郡山に於ける富久山の地と、空氣と、所有者の氣質の如く其轍を履むる先例なきに非

以下裏面へ續く

社告!!!

玉稿未着の町議諸氏へ

兼て御願いたして置きました「平町發展策の私見と希望」の御意見すでに脱稿なされた事と存じますが、本社に於ては到着順を以て掲載する事になつてゐますから、遅れれば自然折角の御熱誠になる玉稿も發表が遅れる事になり成つて本社としても町民としても残念の上ありませぬ、何卒大至急御一報下さるなり郵送なりを望みます、尙御多忙で御執筆の機を失した方でも本社は當分受け付けいたしますから此際多年の抱負を披瀝下さる様御願致します。

警城調査新報社

電話三一六番

桐谷文平氏を

平町平陽實科女學校にては先に故平陽實科女學校校長武川教義氏を名譽校長として女子教育の普及發達は人格者として名譽一世に高き

教育費増加

平町明年度豫算に於て著るしい増加を見たのは教育費のみであるが、小學校費の七萬四千九百九十九圓三十四錢で前年度より六千三百八十三圓七十二錢の増加を見たのは平第一、平第二の兩校が各々来る新學期から二學級宛を増加するため教員も自然増加するに由るものと、又平商業學校では從來不足であつた教員三名を新學期から雇ひ入れ備品も三購入する要に迫られてゐるため豫算一萬五千八百九十四圓十一錢（昨年より二千三百三十四圓九十八錢）増を計上した。

國營に請願

石城郡豊間村鹽屋崎燈臺に昨秋設置した霧笛は一般船舶の旅行に絶大な利便を與へてゐるが同地方は縣内第一の濃霧地である十二月末以來ほとんど連日霧雪に閉ざされたので晝夜を分たす警笛を鳴らし續けてゐる關係上機械修理動力及び臨時手傳へ人等の經費が非常にかさみ到底同地方の負擔に堪へ難くなつたので國營に移さんとし二十四日志賀豊間村長は安達逓相に對し寄付採納願書を提出した。

料理の實習

イワキ食堂で

白翁漫談 (七)

來たナ。永い間見ななかつたのウ。春になつて珍らしいものが降つたナ。年寄は寒さに引込んでゐるので世間の話もさかぬが、變つた事もないか。警署に労働争議が起きたナ。當然の事だから別に怪しむにあらぬ。一月中旬入山警署、大日本、古河、福島、五大炭礦が住吉屋本店、松柏館等で秘密會議を開いて坑夫組合員の秘密會議を開いて坑夫の組合員を組織するものと各炭礦に統一の旗を掲げようとの相談して先づ警署から始つたのが今度腕節の強い連中をよび寄せて急造社員に仕立てた處なんぞ、天下の大倉のやる仕事じゃあるまい。

花柳

赤い切にチヤヤを持した様にそれからそれといふ人を一寸の間に取りかへた、三島の春子さんを、この次はどのどなたに、白羽の矢を立てるやら、どきどきカラクリでも見る氣で楽しみにしてゐる男がある相だが、目出度い男もあつたもの。

花柳 近頃大事な處がムツ

争議が解決する否や、九州へ全部歸した處なんぞ、笑はせぬじやないか、尤も、坑夫を虫けらと見たんだらう、腕でつぶすなんぞ下の下の策じゃな、入山はアレで今後自ら苦しむ事があるじやア。警署警署銀行で行舎を新築すると云ふが、建物許り立派にして、預金と借入金ガストントンの銀行は日本全國探しても減多にあるまいと思ふがドウじゃ、減多にない銀行が平にあるんじやア。國實のわけて新築するのじやア。そなたに話はわかつてゐる、鈴木に逢ふたなら外観よりも内容を整理して根本から建て直す事が自分の爲めにも社會の爲めにもなるじやないか。

第二十一回 産婆看護婦生徒募集

平町南町

平産婆看護婦學校

卒業年限三ヶ年 申込三月三十一日マデ

私立藤田裁縫女學校生徒募集

一、募集人員左ノ如シ
1 普通科 百五十名 2 高等科 若干名
3 速成科 三十名 4 手藝科 若干名
5 高等女學部 五十名 6 高等女學部若千名
● 教員養成科 入學資格ハ本校高等科、速成科卒業者及本校高等女學部第三年在學者ナルヲ以テ同科希望者ハ先ツ普通科、速成科又ハ高等女部何レカニ入學サレタシニ入學手續
● 各科(部)共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月十五日ヨリ三月三十一日迄ニ平町私立藤田裁縫女學校ニ提出スベシ
● 定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス
● 詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ(返信料二錢封入)

私立藤田裁縫女學校 藤田裁縫女學校 本分校

生徒募集

高等女學部 五十名
師範部 五十名
技藝部高等科 百名
同 速成科 五十名

入學 師範部並ニ技藝部、速成科ハ高等小學卒業以上ノ學力アルモノ、高等女學部並ニ技藝部、高等科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ、高等科卒業生ハ選考ノ上高等女學部ニ入學ヲ許ス
願書提出 三月三十一日限り
福島縣平町 私立平陽實科女學校

電話二三七番...配達迅速

●特長

- 一、品質の一定せる事
- 二、正買取引の爲目方の正確なる事
- 三、大量購入の結果買入値段安き事

一日の採炭三百五十車的大量生産

常磐第一の優良炭田より産出する

品質の優良+値段の安價=阿部石炭商店

平驛前 阿部石炭商店

磐城炭礦株式會社一手販賣

家具指物陳列賣場新設

今 スミタニ指物店

工場 平町 土橋
陳列場 同左へ二軒目

品質と値段は

他店の絶対追従を許さず

仙臺屋靴店

平町搔搦小路

理髮器具、化粧品一式
婦人洋髮器具、鏡 直し

芳香園油店

平警察署前

蒲鉾製造
鮮魚仕出し

吉田清吉

平町仲町

折の出納豆詰

和洋菓子問屋

大川屋商店

御下宿

大川屋

平町紺屋町



水野氷室

五斯コークス部

平驛前

電話三二番



福島縣平町
山崎合名會社

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三

東京支店

電話下谷五七三番
振替東京六八三三二番

漆器の御用なら

平町一丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

平町田町廿五番地

近江屋號

近盛馬日支店

電話二五四番

良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

久釜屋商店

磐城平電話一三九番

和洋銅鐵
金物問屋

確實敏捷は(久)の生命なり!!!

親切町噺

飯塚理髮舖

本店 古鍛冶町通
支店 平警察署前

海産物問屋

伊藤彌兵衛

平町四丁目

風の吹く日...御心配ではありませんか

日本火災保險株式會社代理店

中野甲藏

思ひ立つたら...すぐ御契約なさい

蓄音機のごんな破損も速く修繕します

チクオンキ
レコード
樂器
三幸堂

◎音樂研究生募集(詳細ハ御來店願上候)

乗心地よく實用向な自轉車

ローヤル號 代理店 大高自轉車店

平土橋

購買法も御相談に應じます

入院 隨意

外科専門 上田外科醫院

平町南町(電話二二九番)

自炊の便あり